

# 実践教育研究発表会 2018

2018. 8. 24～8. 25

## 大会テーマ 「ものづくり・ひとづくり・幸せづくり」

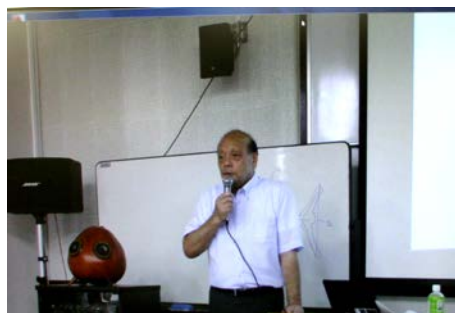
2018年度の実践教育研究発表会（関東大会）が8月24日から8月25日までの日程で、栃木県小山市の関東職業能力開発大学校キャンパス（以下、関東能開大という）で厚生労働省、高齢・障害・求職者雇用支援機構、栃木県、小山市、小山商工会議所、足利商工会議所の後援で開催されました。大会は「ものづくり・ひとづくり・幸せづくり」を大会テーマに掲げ、大会運営委員会および実行委員会によりいろいろな企画が準備されました。2日間の会期中、延べ460名余りの参加者により発表や討議、意見交換、交流が行われました。

3系共同企画である特別講演では、「人との調和ーポラリティーを合わせるー」というテーマで株式会社「リッツコーポレーション」代表取締役の高橋 昭氏の講演が行われました。

講演では、現代社会においては教室や部屋、また自動車の中で会話が聞き取りにくかったり、不快感を感じることもある。その原因はクーラーなどの装置音ではなく、電化製品などに使用されている磁石にあり、その極性を揃えてあげると声が聞き取りやすくなり、不快感も感じなくなるという話をされました。講演中には、実際に磁極を揃える器具（ピュアポイント）を使用しての実験も行われ、非常に興味深い（面白い）講演会となりました。



発表会会場(関東能開大)



特別講演の様子



一般講演の様子(その1)

各専門部の企画もそれぞれ行われました。機械系企画では、「ものづくりの本質ー幸せづくりを目指してー」というテーマでシンポジウムが行われました。最初に伊藤昌樹氏（関東能開大 特任教授）のものづくりの哲学についての基調講演があり、その後「ものづくりを目指す学生に対し、いかに興味を持たせるか」について議論が行われました。電気・電子・情報系では、関東能開大の施設見学会が行われました。建築・デザイン系では、株式会社巴コーポレーション小山工場の見学会、また「3世代が住む狭小住宅」というテーマで第一回建築設計競技が行われました。

一般講演では91件（機械系31件、電気・電子・情報系19件、建築・デザイン系14件、能力開発分科会27件）の発表がありました。今回は、能力開発分科会で多くの発表がありました。

企業展示では全国から32社の出展があり、教育・訓練の教材や関連製品などの展示が行われました。

交流会は、関東能開大の学生ホールで開かれ、全国の教育訓練施設から来られた会員と賛助会員、来賓、発表会関係者の交流、また第一回建築設計競技の表彰が行われました。



一般講演の様子(その2)



企業展示会場の様子



交流会の様子